

平成 28 年(2016 年)熊本県熊本地方を震源とする地震
非常災害対策本部会議(第5回)議事録

日時:平成28年4月16日(土)11:30~12:02

場所:官邸4階大会議室

1. 内閣総理大臣 発言

(内閣総理大臣)

- 本日未明から、熊本から大分にかけての広い範囲にわたって、震度6強レベルの強い地震が頻発し、甚大な被害が発生している。亡くなられた方々の御冥福をお祈りするとともに、負傷された方々をはじめ被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。
- 何よりも、「人命が第一」。事は、一刻を争う。特に今夜から、九州地方では雨・風ともに天候の悪化が予想され、土砂崩れなど、二次災害も懸念されることから、「この日中が勝負」。政府としては、自衛隊、警察、消防など、併せて2万人規模へと動員を拡大し、現地に展開しているが、日没までの時間は限られている。特に、以下の3点について、連携を強化し、全力を尽くされたい。
 - ・ 第一に、累次の地震により、多数の建物が倒壊している。建物の中に取り残された方々の救出活動に、引き続き、全力で取り組んでいくこと。
 - ・ 第二に、余震が続く中で、建物が倒壊するおそれに不安を感じ、屋外へと退避しておられる皆さんが、たくさんいらっしゃる。自治体など関係機関と連携し、要避難者の特定と安全な避難先の確保を早急に進めていくこと。
 - ・ 第三に、至るところで道路が寸断され、集落の孤立なども発生している。食料や毛布などの必要な物資の確保、医療行為の提供など、被災者への支援にも万全を期していくこと。
- 今後とも、強い余震が続くことも予想され、現地の皆さんが、不安な時間を過ごしておられる。そうした気持ちに、しっかりと寄り添いながら、機動的な対応を心がけ、それぞれの現場で、強いリーダーシップを発揮されたい。

2. 原子力発電所の状況報告

(原子力防災担当大臣)

- 九州電力川内原発の現状について、今般の地震により最大12.6ガルの加速度があった。原発が自動停止する加速度は80~260ガルである。また、川内原発は原子力規制委員会の新基準適合性に係る審査において、加速度625ガルでも機能が維持されることとなっている。これらを踏まえ、原子力規制委員会としては、今般の地震を受けて川内原発を停止させる必要性はないと判断している。

3. 被害状況及び各省庁の対応状況について

(警察庁)

- 昨日より6名死者が増え、現時点で15名となった。派遣部隊は主に益城町内で活動している。
- 派遣部隊は南阿蘇村河陽地区においても活動中。
- 阿蘇大橋が崩落した。
- また、東海大学生の寮が倒壊し、12名が生き埋めになった。救助しているが、うち2名が心肺停止状態。
- ペンション「火の鳥」が倒壊し、2名が生き埋めになっている。また、孤立・倒壊場所がほかにもあるとの情報。福岡の部隊が向かっている。
- 阿蘇大橋付近の立野でも建物が多数倒壊。派遣部隊が自衛隊ヘリの輸送援助を受け向かっている。1名が心肺停止。
- 救助体制は現在約1250名のところ、さらに今後追加し、33都道府県からの派遣部隊計約2500名となる予定。

(総務大臣)

- 消防庁からの報告によると、火災8件発生、うち3件鎮火。
- 熊本県では、全壊した建物多数、半壊5件、救助要請が67件、救助済み44件。119番は多数。
- 大分県では、7件救助要請があり、6件救助。
- 特に深刻なのが熊本県嘉島町である。被害が多数でている。
- 地震で大きな被害を受けた熊本市市民病院からは現在25名が転院。
- 南阿蘇村では道路が寸断。また多数の救助事案発生中。南阿蘇村河洋黒川地区では、20名が生き埋め、8名を救出し、うち1名が死亡。立野新所地区では、9名が生き埋め、3名を救出し、うち1名が死亡。
- 宇土市役所が半壊。
- 大分県では119番通報は落ち着いてきた。
- 長崎県では119番通報は15件。
- 大島石油コンビナートが液状化。人的被害なく、消防を現地派遣し、対応中。
- 先ほどの総理の指示を踏まえ、対応勢力を増強。現行の163隊594人に361隊1194人を追加。追加後は計524隊1784名となる。今夜には全員到着予定。16県が応援要請に応じている。なお、熊本県に応援に来ていた大分県は自県の被害に対応するために帰県。
- 通信状況について、基地局は267局停波。現在、事業者に復旧を急がせている。なお、NTTドコモはすべての市町村役場でつながるようになった。

- 移動電源車を6台派遣済み。地方公共団体から要望があれば対応する。
- 放送について、被災地ですべての放送局が放送継続中。ただし、J-COM九州が17590世帯に放送できていない状況。
- 郵便の状況について、営業が困難な郵便局はない。113の郵便局で被害発生。熊本県・宮崎県及び鹿児島県で郵便の遅延発生。

(農林水産省)

- 国営造成ダム(工事实施中、工事完了)については、22箇所のうち12箇所は目視点検で異常なし。10箇所は点検中。調整池は6箇所を点検中。
- 決壊したと報道のあった大切畑ダムについては、確認したところ、漏水もなかった。
- ただし、今後の天候悪化による降雨に備え、水位を低下させている。

(国土交通大臣)

- 熊本県内の複数の箇所で高速道路通行止め。
- 土砂崩れにより国道325号の阿蘇大橋崩落。また、JR九州豊肥線停止。
- 地獄温泉、垂玉温泉が孤立状態。
- 熊本空港ターミナルビルは管制施設が停電、一般旅客機欠航。

(防衛省)

- 西部方面総監の下、明日までに2万人態勢を予定。到着次第救助活動開始。
- 熊本県益城町において、現在3100名が生活支援・ローラー作戦等に当たっている。

(厚生労働省)

- 熊本市市民病院が倒壊の危険性があるため、重傷者を、停電中ではあるが、熊本赤十字病院に移送している。また、熊本赤十字病院の患者は他県に移送する。ただし、どこの病院でも負傷者が多数来院し、十分な対応が出来ていない状況。
- D-MATのサポートが必要。現在60隊が活動中。また、110隊を移動または移動準備中。一部、自衛隊ヘリによる移動を協議中。
- ドクターヘリは全て稼働中。また、中国・四国から3機のドクターヘリが出動のため待機中。
- 被災地の一部の福祉施設は通信がとれない状況。
- 水道について、熊本県全域38万5千戸で断水。現在、応急態勢構築中。

(経済産業省)

- ライフラインの早期復旧に努めている。
- 熊本県、大分県の約16万9000戸が停電。病院等の重要施設に対し、電源車を派遣する態勢を整備中。

- コンビナート、製油所について被害情報なし。
- 中小企業に対し、特別相談窓口を開設し、被災者にしっかり対応する。

(防災担当大臣)

- 特別相談窓口は休日でも対応しているのか。

(経済産業省)

- 土日でも対応するが、現在、道路状況が悪いため、電話での対応を実施している。

(財務省)

- 熊本駅前の合同庁舎を、県からの要請にもとづき避難所として開放している。

(内閣総理大臣)

- 南阿蘇村で孤立化が発生している。警察・消防・自衛隊が活動中と承知。
- 救出活動に全力を挙げることはもちろん、すでに救助された方等の避難者について早急に対応するように。
- 午後に雨が降ることも対策してほしい。

(防災担当大臣)

- 先日の地震についてはすでにローラー作戦を完了していたが、本日の地震で再度スタートに戻ってしまった状況。天候悪化の予測が出ていることから、今日の日中に全力の対応を。
- 毛布については、8号館の本部事務局で対応し、熊本県庁に集約したトラック協会が輸送を実施している。
- D-MAT の対応についてよろしく願います。
- 現地対策本部では松本副大臣が対応に当たっている。

以上